

2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム  
葉山苑天領の杜

作成日 平成23年4月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	生活歴やその人らしい生き方を把握しやすいアセスメント様式を検討する	本人の希望や意向が把握しやすいアセスメント様式を全職員で検討する。	日々の生活や本人らしさがわかりやすく、誰が見てもわかりやすいアセスメント様式を全職員で検討する。	12ヶ月
2	33	主治医の理解が必要となり、きめ細やかな対応について医師・家族・事業所の対応について会議を重ね安心できる体制作りをする	三者間で対応を十分に話し合い、安心できる体制作りを行う。	医師、家族、職員間で本人は安らかに、家族は安心して、医師、職員は落ち着いて対応できるように細かく話し合いをしていく。	3ヶ月
3	43	排泄誘導される事により快適で気持ちよく生活される事により清潔や感染防止への意識付けができる	各個人に合わせた排泄支援を行う。	・各個人に合わせた排泄パターンで排泄誘導を行う。 ・布パンツ使用し、排泄自立している方は継続できるように支援していく。	12ヶ月
4	10	今後も利用者、家族それぞれの思いを汲み取れる工夫をする	入居者、家族が話しやすい雰囲気作りをする。	面会時は職員から積極的に話したり、面会に来れない家族には電話や手紙等にて近況報告をしたりして家族の思いを話して頂けるようにする。	6ヶ月
5	6	今後も委員会を活用し検証していく	委員会を通じて全職員で身体拘束が減少するように取り組む。	3点柵使用や言葉の抑制が廃止できるように、今後も委員会にて話し合いを重ね、全職員に意識付けをしていく。	12ヶ月
6	30	受診支援により利用者、家族、主治医との関係が途切れないようにする	主治医、家族、本人、事業所間で連携をとり、受診支援を行っていく。	・受診の際はご家族も同行して頂けるよう今後も働きかけていく。 ・受診支援時ご家族の意向を医師に伝え、支援後はご家族へ連絡、ないよう説明し、必要時は医師、家族間で連絡が取れるようにしていく。	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。



2 目 標 達 成 計 画

事業所名 グループホーム  
葉山苑天領の杜

作成日 平成23年4月13日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	イベントへの参加以外にも地域と事業所の関係作りの為の職員の役割を考える	地域の行事、活動へ入居者と共に参加する。	運営推進委員会の方等に相談し、地域での行事、活動、老人会などへ参加できるようにしていく。	12ヶ月
2	2	今後は地域に出向き認知症になっても安心できる街づくりの啓発に努める	今後も積極的に地域に出向き、なじみの関係作りを深めていく。	地域行事への参加や散歩は今後も継続し、地域への活動へ入居者と共に参加できるよう努める。	12ヶ月
3	26	ケアプラン、介護計画に沿ったケアの共有を継続する	全体で本人のケアについて考え、介護計画に活かしていく。	全体で本人の状況に合ったケアについての話し合いを細かく行い、ケアプラン、介護計画に活かしていく。	6ヶ月
4	5	今後も地域の現状についての理解を深めて頂けるよう努める	市の担当者と連絡、相談を積極的に行い、現状の理解を働きかけていく。	今後も継続して事業所の実情や、ケアの取り組みについて積極的に市の担当者に伝え、理解して頂ける様に働きかけていく。	12ヶ月
5	35	職員連絡網について効果的な方法を検討する	災害対策を訓練を通して身につける。	職員連絡網の短縮化や避難場所、避難経路、避難方法など訓練を通して安全且つ敏速に行動できるように検討していく。	6ヶ月

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。